

北東アジア地域環境体験プログラムの開催結果

自治体・経済界・学界が連携して、青少年に北東アジア地域における環境の現状を直に体験する機会を提供することにより、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら考えて行動できる人材を育成することを目的として、富山県及び韓国忠清南道主催により「北東アジア地域環境体験プログラム」を開催しました。

1. 開催期日

2008年8月21日（木）～22日（金）

2. 開催場所

韓国 忠清南道 泰安郡

3. 主催者等

主催：日本国富山県、韓国忠清南道

共催：財団法人環日本海環境協力センター、韓国環境保全協会

4. 参加者

学生 96名（4か国8自治体）※ 指導者、事務局等を含め 149名

・中国：22名（遼寧省9名、黒龍江省7名、江蘇省6名）

・日本：17名（富山県17名）

・韓国：35名（江原道5名、忠清南道30名）

・ロシア：22名（沿海地方14名、ハバロフスク地方8名）

※日本からは、富山商船高等専門学校、富山県立中央農業高校、富山県立有磯高校、富山大学附属中学校、片山学園中学校が参加。

5. テーマ

「体験活動を通じた自然環境保全」

6. プログラム

(1) 挨拶

忠清南道福祉環境局 イ・ピルス局長

富山県生活環境文化部 堀 武司次長

忠清南道泰安教育庁 ハン・ジョンドク教育長

(2) 基調講演

「世界の環境問題及び各国の青少年の連帯の必要性」

－韓国環境保全協会 チャン・キュシン事務総長

(3) 講義

「泰安油流出事故から復元までの体験活動事例発表及び講義」

－大邱カトリック大学 ソ・ジョンチョル教授

(4) 視聴覚講義

「室内映像教育及び事例講義」

－大田MBC チョン・チョンゴンTV編成制作部長

(5) 共同環境保全活動（場所：カルミ海岸）

「事故現場の事例説明」

「油の除去活動及び自然浄化活動」

－大田MBC チョン・チョンゴンTV編成制作部長

－環境保全協会大田・忠南支会 イ・ソングェ事務局次長

(6) 体験実習（※当初、砂丘及び干潟での実習を予定していたが、雨天によりプログラムを変更）

「環境絵画共同作成」

－泰安中学校 イ・ファジン教師

(7) 環境関連施設視察／講義

韓国西部発電（株）泰安火力発電本部

－キムチャンヒョン環境管理部長

(8) 活動発表（10 団体）

・学校周辺での教育環境総合地域の創作活動への学生の参加（ロシア・沿海地方）

・冷房を 26℃前後に（中国・遼寧省）

・循環型社会における農業（日本・富山県）

・ごみの分別収集の推進に関する調査研究（中国・江蘇省）

・森の生態探査及び森の文化探査（韓国・江原道）

・毎年開催される“地球の日 2008”エコフェスタの参加、

苗木植えを兼ねて（ロシア・ハバロフスク地方）

・「心に太陽を」成長計画（中国・黒龍江省）

・泰安海岸国立公園油流出事故の現場ボランティア（韓国・忠清南道）

・氷見の自然を守る（日本・富山県）

・環境調査－生活の中の化学物質が

動植物に与える影響を明らかにするための調査－（ロシア・沿海地方）

(9) 2008 泰安環境宣言

各国代表者が署名した宣言文を忠清南道参加者代表が読み上げ、満場一致で採択された。

2008 泰安環境宣言文

「北東アジア地域環境体験プログラム」に参加した我々4カ国の青少年は、環境保全のための意見交換や情報共有といった活動を更に発展させ、私たちの身近な現場に出向き環境ボランティアを実際に行うことで、現地での環境問題を直接目で見て、感じ、考えることができた。そして、環境問題を解決するための環境保全活動を実践することがとても重要であることを理解した。

また、環境保全のためには、個人・地域・国の境界を越えて、多くの参加主体が協力するとともに、相互に連携し、認識を共有していく必要があることを参加者全員が認識した。

私たちは、この体験プログラムへの参加を通じて、我々の共有財産である自然環境を保全するためには、環境汚染を未然に防ぐことが非常に大切であることを認識し、北東アジア地域の健全な自然環境を我々みんなで保全するため、継続的に相互交流を行い、環境保全活動について積極的に参加することを素晴らしい自然環境を有している忠清南道泰安において宣言する。

8月22日 北東アジア地域環境体験プログラム参加者

プログラム開催風景

(1) 開会式（堀 富山県生活環境文化部長挨拶）



(2) 環境体験（共同環境保全活動：油の除去活動）



(3) 活動発表（富山県立中央農業高校の生徒によるプレゼンテーション）

